

技術者育成への取組み 和歌山県土木部における 技術職員研修について

和歌山県土木部技術調査課

1. はじめに

近年，建設業界においては新技術の開発による多種多様な工種・工法の確立，複雑な構造計算等技術の発達はめまぐるしく進歩しています。それに伴い，土木技術職員においても資質・能力の向上が必要となり，多々ある土木行政の課題に積極的に取り組める意識改革を図り，地域住民のニーズに応えられる人材を育成していく必要があると考えられています。そこで，和歌山県土木部では若手土木技術職員の研修を行うことにより，これからの和歌山県の土木行政を担っていく人材育成

を行っています。

2. 取組み概要について

和歌山県では，通常一般行政職は職員研修所という研修機関において経験年数により，それぞれ新規採用職員研修・入庁3年目研修・入庁5年目研修等が行われています。しかし，職員研修所で行われている研修では，技術職員・事務職員に関係なく一般行政的な内容でしかなく，実践ですぐに活かすことができません。そこで，技術職員，特に土木技術職員について，現場における業務である土木工事の積算等の研修を行うことで，よ

表 1 年間スケジュール表

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 新規採用土木技術職員専修科研修			⇔									
(2) 基礎強化研修			⇔			⇔				⇔		
(3) 中堅技術職員研修						⇔			⇔			

上段：偶数年度目 下段：奇数年度目

り実践で活かせるよう具体的に基本的な部分について研修を行っています。

取組み内容の概要については、年間を通じて3回の研修会を行っています(表1)。その概要については、(1)新規採用土木技術職員専修科研修、(2)基礎強化研修、(3)中堅技術職員研修とあり、それぞれ新規採用職員を初歩的な実戦で活かすことのできる内容から、これからの和歌山県土木行政を担っていくべき中心的存在である中堅職員の構造物の安定計算等までとなっています。

また、(2)、(3)については、市町村の職員方にも

ともに技術力の向上を図り、お互いの交流を深めるために参加を呼びかけています。

3. 現在の取組みについて

(1) 新規採用土木技術職員専修科研修について
この研修については、土木技術職員の新規採用者を対象とし、今、和歌山県で計画・実施している主要事業をはじめ、各事業課の行っている事業概要、監督行政についての心得等、和歌山県の土木行政全般についての講義や現場ですぐに必要と

表 2

新規採用土木技術職員専修科研修過去3年間の参加人数

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
参加員数	16	8	13	17

平成11年度新規採用土木技術職員専修科研修日程表

日 程	月 日	時 間	講 義 内 容
第1日目	6月2日	9:20~9:30	開講式
		9:30~10:10	土木部主要事業について
		10:20~10:40	自己紹介・日程説明
		10:40~11:20	技術職員の立場(監督行政)
		11:20~12:00	施工管理基準について
		13:00~13:20	挨拶
		13:20~13:50	工事の検査について
		13:50~14:20	土木部の予算について
		14:20~15:00	道路行政について
		15:15~15:55	都市計画行政について
		15:55~16:30	下水道行政について
第2日目	6月3日	9:00~11:20	設計書の作成(1)
		13:00~17:00	設計書の作成(2)
第3日目	6月4日	9:00~12:00	設計書の作成(3)
		13:00~13:30	河川行政について
		13:30~14:00	港湾行政について
		14:00~14:30	砂防行政について
		14:30~15:00	用地問題について
		15:15~15:45	会検検査について
		15:45~17:00	意見交換

なり土木技術職員にとって中心的な土木工事の設計書の作成について行っています。土木工事の設計書作成については、図面から数量を拾い出すところから、歩掛による設計書の作成までを行っています。

(2) 基礎強化研修について

この研修については、土木技術職員となって現場にも慣れてきた頃の入庁3～5年目程度を対象とし、もう一度基本的な部分を理解した上で、基礎の強化を図ることを目的として、平成8年度から開催しております。

また、本研修については、県のみならず市町村職員についても、技術力の強化および県・市町村職員間の交流を深める機会として参加を呼びかけています。

講義内容については、道路・河川・砂防関係および土木全般的なものについて行っており、講師については、幅広い知識と豊かな経験をもってい

る(社)建設コンサルタンツ協会(近畿支部)に依頼し、内容に応じた講師の方を派遣していただいています。

本年度については、和歌山労働基準局の方にも講師を依頼し、安全管理について講義をお願いしました。

(3) 中堅技術職員研修について

この研修については、本県の土木行政の発展を担う中堅的立場にある、入庁10年目程度の土木技術職員を対象とし、平成7年度から開催しており、市町村職員の方にも参加を呼びかけています。

講義内容については、土木工事における構造物の安定計算を中心に、建設業界の現状および今後の動向等について研修を行い、今後の行政に必要な説明の責任等に対応できる人材の育成を図ることを目的としております。

講義を聴いた上で実際の演習問題を行うこと

表 3

基礎強化研修過去3年間の参加人数

	平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度	
	県	市町村	県	市町村	県	市町村	県	市町村
参加人数	29	0	21	12	16	16	27	17
合計	29		33		32		44	

平成11年度基礎強化研修日程表

日 程	月 日	時 間	講 義 内 容
第1日目	8月26日	9:30～	受付開始
		10:00～10:20	開講式
		10:30～12:00	安全管理について
		12:00～13:00	昼 食
		13:00～17:00	河川計画について
第2日目	8月27日	9:00～	受付開始
		9:10～11:00	橋梁計画について
		11:00～12:00	道路計画について
		12:00～13:00	昼 食
		13:00～17:00	道路計画について
		17:00～	閉講式

表 4

中堅技術職員研修過去3年間の参加人数

	平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度	
	県	市町村	県	市町村	県	市町村	県	市町村
参加人数	24	11	23	17	21	16	13	13
合計	35		40		37		26	

平成11年度中堅技術職員研修日程表

日程	月日	時間	講義内容
第1日目	12月9日	9:00~	受付開始
		9:20~ 9:30	開講式
		9:30~ 12:00	土質と基礎
		12:00~ 13:00	昼食
		13:00~ 17:00	法面の設計・演習
第2日目	12月10日	9:00~	受付開始
		9:10~ 12:00	杭基礎の選定・設計
		12:00~ 13:00	昼食
		13:00~ 16:30	擁壁および函渠の設計・演習
		16:30~ 16:45	公共工事コスト縮減について
		16:45~	閉講式

で、より一層技術職員の知識および技術力の向上を図り土木行政発展のために役立てていただければと考えております。

4. 今後の取組みについて

今後の取組みについては、研修終了後、今回の研修内容についての意見や今後どのような研修を望むか、また、現在直面している悩みや問題点等のアンケート調査を行い、県民のニーズにあったこれからの土木行政発展のため価値ある研修を行っていきたいと考えております。

さいごに、これからの土木行政について、長引く経済不況、交通・情報通信の高度化、経済社会の国際化、情報の公開などがあいまって、入札・契約制度のさまざまな見直しや建設コストの縮減、建設副産物の処理問題、再評価システム、工事工種の体系化、アカウントビリティの向上、また一方では環境問題への意識の高まりなど、まだまだ課題が山積みとなっていますが、これら課題に取り組んでいける土木技術職員の育成がこれからの土木行政には最も大切になってくるものと考えております。